

下記 1 項の取扱説明書の該当箇所については、2項に示す情報に差替えてご使用ください。

1. 対象取扱説明書

ドキュメント No.	版 No.	製品名称／ドキュメント名称	該当項目	該当ページ
IM 01C50G01-01JA	7	YTA610, YTA710 温度伝送器 (ハードウェア編)	2.8 2.9 2.10	2-5 2-5 2-5

2. 変更内容

変更前	変更後
2.8 EMC 適合規格 EN61326-1 Class A, Table2 EN61326-2-3 EN61326-2-5 (フィールドバス)	2.8 EMC 適合規格 EN61326-1 Class A, Table2 EN61326-2-3 EN61326-2-5 (フィールドバス) テスト中のイミュニティの影響： 出力シフトは、スパンの±1%以内になります。  注意 この機器はクラス A 製品であり、工業地域・環境で使用するように設計されています。工業地域・環境でのみご使用ください。  注記 YTA 温度伝送器の取付に際しては、EMC 規制の要件に準拠するため、金属管配線をするか、信号線にツイストペアケーブルのシールド線を使用することを推奨します。

2.9 一般安全適合規格 EN61010-1, C22.2 No.61010-1 ・ 設置カテゴリ（過電圧カテゴリ）：I （予想される過度過電圧 330V） ・ 汚染度：2 ・ Indoor/Outdoor use EN61010-2-030, C22.2 No.61010-2-030 ・ 測定カテゴリ：O (Other) （測定入力電圧：150mVdc max）	2.9 一般安全適合規格 EN61010-1, C22.2 No.61010-1 ・ 設置カテゴリ（過電圧カテゴリ）：I （予想される過度過電圧 330V） ・ 汚染度：2 ・ Indoor/Outdoor use EN IEC 61010-2-030, C22.2 No.61010-2-030 ・ 測定カテゴリ：O (Other) （測定入力電圧：150mVdc max）
2.10 EU RoHS 適合規格 EN 50581 該当する生産拠点を以下に示します。 RoHS 対応製品の生産拠点は、製品本体の銘板に記載された計器番号（Serial Number）から確認することができます。 計器番号（9 桁で構成されます）：NNYMnnnnnn ・ NN：生産拠点の識別コード C2, U1, BH, Y3, S5, 91 ・ Y：製造年 2015 年：「R」を使用 2016 年：「S」を使用 2017 年：「T」を使用 2018 年：「U」を使用 2019 年：「V」を使用 2020 年：「W」を使用 2021 年：「X」を使用 ・ M：製造月（1～12 月） 1 月～ 9 月：対応する「1 ～ 9」を使用 10 月：「A」を使用 11 月：「B」を使用 12 月：「C」を使用 ・ nnnnn：製造年月ごとの連番	2.10 EU RoHS 適合規格 EN IEC 63000 該当する生産拠点を以下に示します。 RoHS 対応製品の生産拠点は以下となります。 シンガポール、中国、日本、サウジアラビア、UAE、米国 生産拠点は、製品本体の銘板に記載された計器番号（Serial Number）から確認することができます。 計器番号（9 桁で構成されます）：AAnnnnnnnn ・ AA：生産拠点の識別コード シンガポール："C2" または "C0" 中国："S5" 日本："91" または "90" サウジアラビア："Y3" UAE："Y4" 米国："U1"

下記1項の取り扱い説明書の該当箇所については、以下に示す情報に差し替えてご使用ください。

1. 対象取り扱い説明書

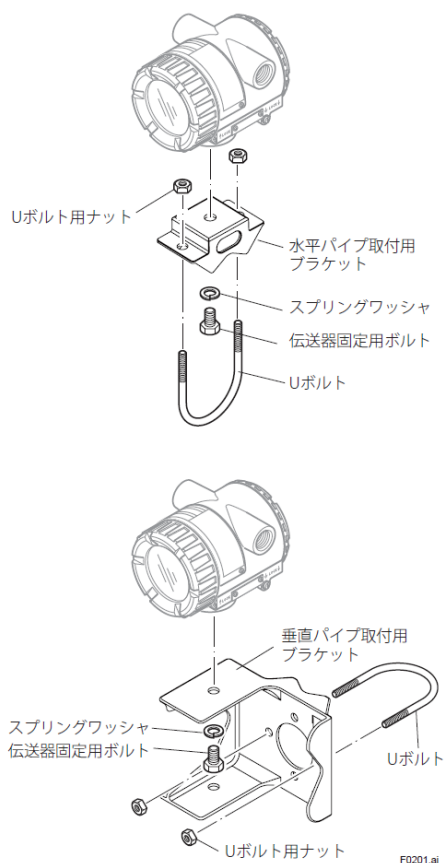
IM 番号	版	IM 名称	該当項目
IM 01C50G01-01JA	7	YTA610, YTA710 温度伝送器 (ハードウェア編)	2 4

2. 変更内容

下記図のとおりブラケットの形状が変更されます。該当の図は以下の最新図に差し替えてご使用ください。

2. 取扱上の注意事項

図 2.1 伝送器取付用部品

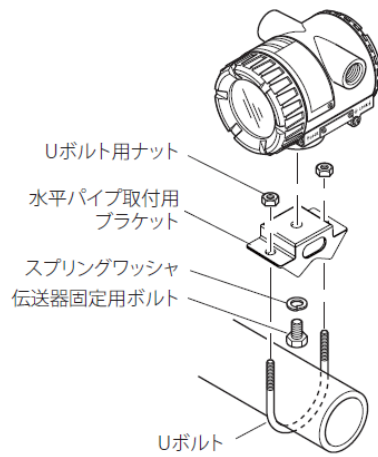


4. 取付

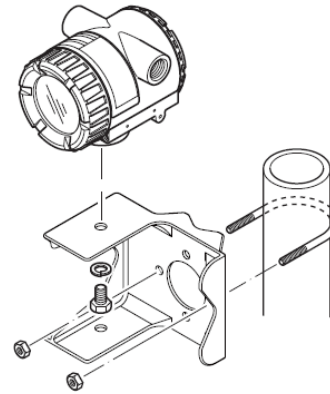
図 4.1 伝送器の取付

水平パイプ取付

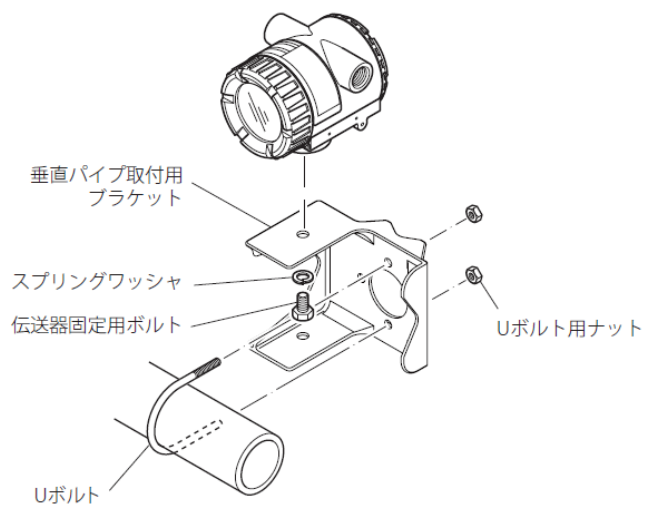
(水平パイプ取付用ブラケットご使用のとき)



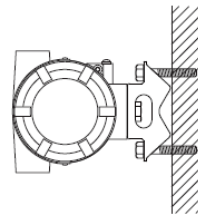
垂直パイプ取付



(垂直パイプ取付用ブラケットご使用のとき)



壁面取付



注：壁面取付用ボルトはご使用者にて
ご用意願います。